



令和6年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

本年4月18日(木)に、小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。さらに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。

一方、調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。また、本校は小規模校で、対象学年の児童数が少なく、個人情報観点からもより丁寧な取り扱いが必要です。このことを十分考慮したうえで、今回の調査結果と分析を皆様に報告させていただきます。そして、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実させていきます。

1 教科に関する調査の結果

平均正答率 (%)	本校(全国との比較)	鈴鹿市	三重県	全国
国語		68	67	67.7
算数		63	62	63.4

2 各教科の結果分析(各教科の成果と課題)

① 成果：主に全国の平均正答率よりも正答率が高かった問題

② 課題：主に全国の平均正答率よりも正答率が低かった問題

(1) 国語

① 成果

問題番号	内容
1二(1)	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。
2三ア	漢字 きょうぎ(競技)
2三イ	漢字 なげる(投げる)
3三	人物像や物語全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

② 課題

問題番号	内容
1二(2)	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができていない。
1三	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができていない。

③四	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができていない。
----	--

(2) 算数

① 成果

問題番号	内容
⑤(1)	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる。
⑤(2)	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。
⑤(3)	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。
⑤(4)	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうか判断できる。

② 課題

問題番号	内容
①(1)	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができていない。
②(2)	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解することができていない。
③(3)	球の直径の長さとは立方体の一辺の長さとの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができていない。
④(3)	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できていない。
④(4)	速さの意味について理解できていない。

(3) 課題改善に向けた取組

【国語】

- ・「読む・書くワークシート」「よむ YOMU ワークシート」に取り組み、目的に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くようにしていきます。
- ・引き続き、読み聞かせボランティアさんや教師による読み聞かせを行ったりして、本に親しむ機会を増やしていきます。
- ・資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心を考え、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定することを大切にします。また、教室に掲示している「話し名人」「聞き名人」を意識させ、特に、聞き手のうなずきや表情などにも注意しながら話すようにすることを大切にしていきます。

【算数】

- ・文章問題では、問題場面を絵やテープ図等を用いて考えさせたり、加減乗除のヒントになる言葉に注目させたりすることを低学年のときから大切に指導していきます。

裏面へ

- ・除数が小数である場合でも、わり算の性質をつかうと、整数の場合の計算と同じように計算することが理解できるように指導していきます。
- ・速さ（今回は分速）の意味について理解できるように、「速さ」とは、「道のり」と「かかった時間」を基に求めることができるものであることを系統的に指導するようにします。

3 児童質問紙の結果分析（児童質問紙の成果と課題）

児童質問紙は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。学校生活・生活習慣・学習習慣に関わること、家庭生活に関わること、非認知能力や今求められている力に関わることなどへの問いがありました。

① 成果：主に全国よりも児童の肯定的評価が高かった質問

② 課題：主に全国よりも児童の肯定的評価が低かった質問

（1）成果と課題

家庭生活・生活習慣・学習習慣について

① 成果

- ・朝食を毎日食べている。 ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。 ・放課後や週末に友達と遊んでいる。

② 課題

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強できていない。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強できていない。
- ・放課後や週末に家でテレビや動画を見たりゲームをしたり、SNSを利用したりしている。

学校生活について

① 成果

- ・友達関係に満足している。 ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。

③ 課題

- ・学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組めていない。

地域連携について

① 成果

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。

② 課題 ありませんでした。

非認知能力について

① 成果

（やりぬく力）

- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫す

ることができる。

・将来の夢や目標を持っている。

(自制心)

・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

(社会性)

・人が困っているときは、進んで助けている。 ・人の役に立つ人間になりたいと思う。

③ 課題

(自己肯定感)

・自分には、よいところがあると思えていない。

□今、求められている力

① 成果

○深い学び

・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。

○個別最適な学び

・ICT 機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

○協働的な学び

・友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

○学びのアウトプット

・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。

② 課題

○主体的な学び

・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組められていない。

○対話的な学び

・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていない。

(2) 課題改善に向けた取組

・家庭学習の時間が引き続き少ない状況です。この課題解決に向け、今年度も、天名まちづくり協議会の青少年育成部会作成の家庭学習チェックシートを活用し、家庭学習の充実を図っていきます。

・様々な行事を通して成功体験を積み重ねて自信をつけさせていきます。

・授業力UP5 ver.2を意識した授業づくりを行います。特に、対話的な学びを進められるように、児童がみんなと対話したいような学習課題を提示し、子どもたちが主体的に学習に取り組めるようにしていきます。